令和3年度 事務事業評価(議会)
(令和2年度決算)

分科会評価結果

分科会名	厚生分科会				整理番号	厚生-3		
事務事業名	放課後児童支援コーディネーター事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	①	拡充	2	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、発達障がい等の特に配慮を要する児童について、保護者や学校等と連携を図りながら、その発達段階や個性に応じ、安心して放課後を過ごすことができるように、保護者や放課後児童クラブに指導・助言を行うことを目的としている。

発達障がい等の特に配慮を要する児童は増加傾向にあり、相談件数も増加するとともに、相談内容も複雑化・多様化していることから、本事業の必要性は高いことが認められる。

現在、2名のコーディネーターにより相談業務を担っているが、さらにきめ細やかな対応を行うためには、現在の体制は十分ではないと考えられることから、今後は、コーディネーターを増員することにより、児童や保護者、放課後児童クラブ指導員等の問題解決に向けた支援体制の整備や事業内容の充実を図ることを求め、拡充とした。